

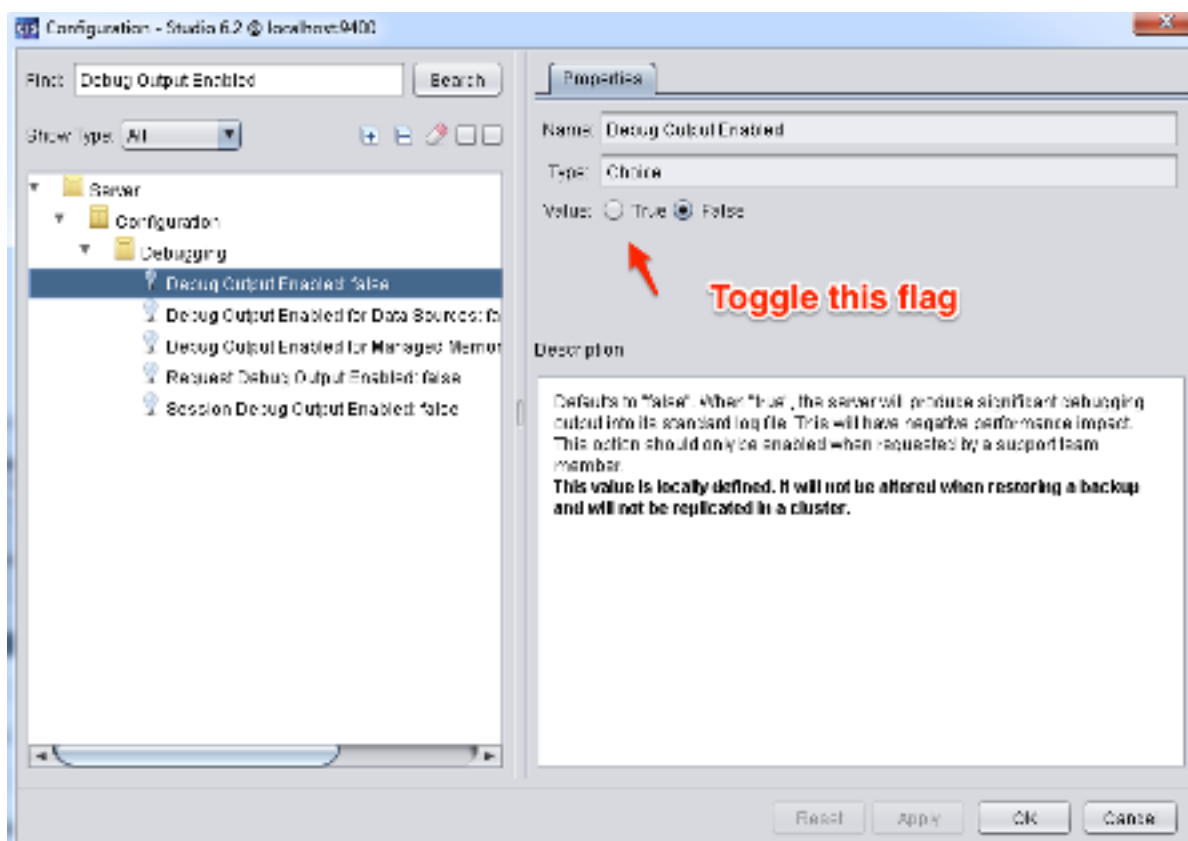
# データ仮想化スイートに関する FAQ： 必須の CIS 再起動を行わずに log4j.properties の変更を反映する方法

このドキュメントでは、<CIS\_INSTALL\_DIRECTORY>\conf\server\log4j.properties を設定する際に、CIS サービスを再起動せずに、Cisco Information Server ( CIS ) のデバッグ ログ レベルを有効にする方法を説明します。

## CIS を再起動せずに log4j のプロパティの変更を実装する方法

log4j プロパティを実装するために CIS サーバを再起動する必要はありません。CIS Studio から [Administration] > [Configuration] > [Server] > [Configuration] > [Debugging] > [Debug Output Enabled] フラグを切り替えると、log4j.properties ファイルが再読み込みされます。

1. log4j.properties ファイルを編集します。
2. [Debug Output Enabled] フラグを [True] に設定して、[Apply] をクリックします。
3. [Debug Output Enabled] フラグを [False] に設定して、[Apply] をクリックします。
4. [OK] をクリックして、設定ダイアログボックスを閉じます。



これらの手順により、log4j.properties ファイルの DEBUG ログ レベルを有効にしたロガー カテゴリのデバッグ ログが増えることがあります。これらの手順でデバッグ ログが増えない場合は、CIS サービスを再起動する必要があります。次のようなコードを作成します。

=====

```
DEBUG [245022965@http-4] 2014-07-22 16:27:40.843 -0700 ProbeManager -  
propName=/server/config/debug/enableDebug
```

```
DEBUG [245022965@http-4] 2014-07-22 16:27:40.843 -0700 ProbeManager -  
/server/config/debug/enableDebug (old value)=true
```

```
DEBUG [245022965@http-4] 2014-07-22 16:27:40.843 -0700 ProbeManager -  
/server/config/debug/enableDebug (new value)=false
```

=====